

HOME > PROJECT > XSTUDIO >
繊維をテーマにともに考えるXSTUDIOがスタート！ ～第1回ワークショップ・後編～

PROJECT XSTUDIO

繊維をテーマにともに考える XSTUDIOがスタート！ ～第1 回ワークショップ・後編～

9月23～24日に行われたXSTUDIO第1回ワークショップ。前編では、福井の文化や風土、繊維業界のこれまでを紐解くさまざまなセッションの様子をご紹介しました。後編は各スタジオの動きに迫っていきます。

繊維業界の新たなスタンダードをつくるSTUDIO A

各スタジオではどのような活動が行われていたのでしょうか。ここからはその動きを追っていきます。

STUDIO Aでは、繊維が生まれる現場を知ろうと明林繊維の提携工場のひとつ、勝山市の小林機業場を見学させていただくことに。

PROJECT



XSESSIONS

2021 PROJECT
ARCHIVE

2020 PROJECT
ARCHIVE

2019 PROJECT
ARCHIVE

2018 PROJECT
ARCHIVE

2017 PROJECT
ARCHIVES

2016 PROJECT
ARCHIVES

CONTACT



▲STUDIO Aのメンバーは遊具のデザイナーやプランナー、企業の研究員、美大生など個性豊かなメンバーが揃っています。



小林機業場では、実際に織機が動く様子を見ながら、原料から糸づくりを経て生地ができるまでの工程について学びました。新しい生地を開発する過程で産元商社のさまざまな要望に応え、高品質を実現していく小林機業場の経験と技術に、明林繊維の村上貴宣社長も全幅の信頼を寄せているそうです。

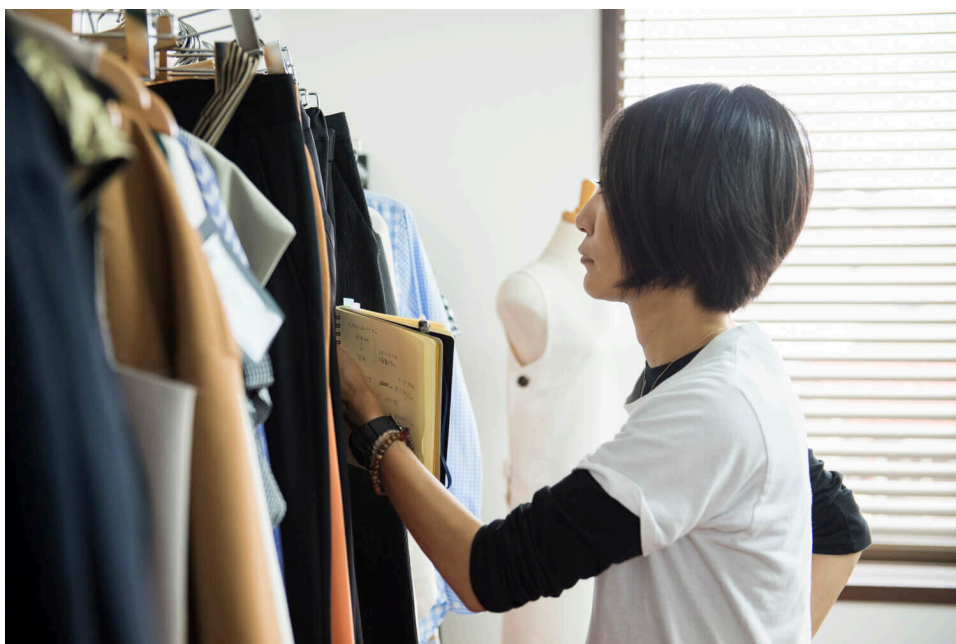


▲はたや記念館「ゆめおーれ勝山」では、昔ながらの絹織物の工程と歴史について学びました。

翌日は明林繊維本社を訪問。アパレルメーカーのバイヤーやデザイナーが訪れた際、どのように商談を進めていくのかを体感しながら、生地サンプルを見せてもらいます。再生セルロース繊維というカテゴリーの中でも一つひとつまったく異なる、生地の風合いや手ざわりを確かめていきます。



膨大なサンプルを眺めていると、「商談のときは生地風の合いをどのように言語化するのか」という疑問が生まれてきました。「光沢感」「シヤリ感」など、生地を表現する言葉はたくさんありますが、人によって感じ方は異なるはずです。



それぞれが感じた素朴な疑問や感想を共有。明林繊維のみなさんに質問をぶつけながら、アイデアの可能性を探っていきます。



今回のワークショップでたどり着いた一つのテーマが「生地サンプルに表示されているタグの項目を見直すこと」。繊維業界に携わるプロのみならず、そうでない人にも新しい可能性を開いていくような、生地を選ぶ際の「指標」やコミュニケーションのあり方について、リサーチを進めていくようです。



▲再生セルロース繊維が誕生するまでのストーリーにも着目していきます。

転写技術を体験し、新たな可能性を発掘する
STUDIO B

STUDIO Bはパートナー企業、ジャパンポリマーク社を訪問。まずは、何層にも素材が組み合わさった熱転写ラベルの製造工程を見学しました。驚くほど多様な素材に圧着する技術があるのですね！



▲繊維業界に携わる参加者が多いSTUDIO B。アパレル企業に勤める人や、デザインを学ぶ学生のメンバーも。

また、ジャパンポリマーク社の機械を使った熱圧着体験も行いました。各自で持ち寄ったTシャツに、さまざまな機能を持つラベルを熱圧着していきます。



ラベルにも水を弾くものや、光をあてるとその方向に光が反射する「再帰性反射」の機能を持つものなど、ジャパンポリマーク社ではさ

さまざまな種類の素材を開発しています。



▲なんと、この日のためにXSTUDIOオリジナルのラベルを作成！

Tシャツの好きな場所にラベルをのせて、熱転写機でプレスすると……



じゃーん！ あっという間にオリジナルTシャツの完成です！



Tシャツだけではなく、帽子や靴下、そしてバッグにも。ラベルを貼ると、それだけで一気に特別感が出てきます。



翌日は工場の見学や熱転写体験を通して感じたこと、気づいたことをふせんに張り出していました。



「教育と組み合わせられないか」「再帰性反射はまちの景観をつくるのに役立ちそう」「香りを出すものや消臭など、ラベルに機能を追加してみても面白いかも」

一つずつアイデアのタネを書き出していくと模造紙がいっぱいになり、窓に張り出すことに。



次のワークショップに向けて、メンバーたちが出した可能性に対してリサーチを進めていきます。

まずは手を動かす。実験の連続から「よさ」を見出すSTUDIO C

STUDIO Cはパートナー企業の荒川レース工業で、レースの製造工程を知るところからスタート。



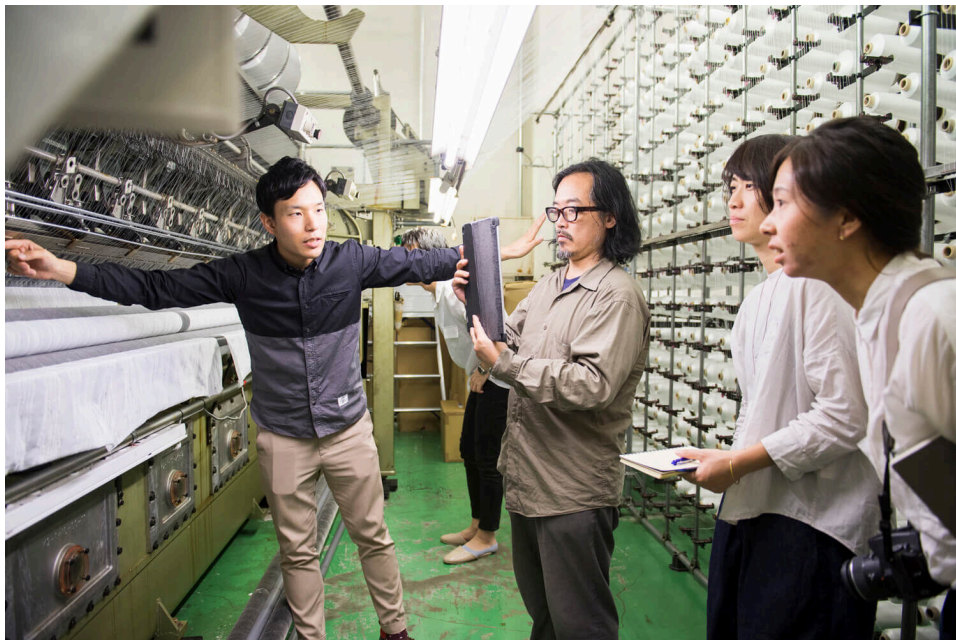
▲建築家やデザイナー 化学が専門の研究者など、活動のフィールドもさまざまです。

荒川純治社長にもご登場いただき、レースの構造やこれまで自社で取り組んできた製品についてご紹介いただきました。なかでもメンバー全員の印象に残ったのが、社長の「レースは空気を編んでいるんや」という言葉。レースが持つやわらかさや風を通すゆるやかさが、すべてこの言葉に集約されているようでした。



▲レースの魅力を語ってくれた荒川社長

工場では荒川レース工業の荒川拓磨・道子さんの案内のもと、糸からレースになるまでの様子を見学。その複雑な構造を理解するのになかなか苦戦しました。目に見えないほどのスピードで編み上げられていくレース生地のはりしさは圧巻の一言です。



▲メンバーたちの質問に丁寧に答える荒川拓磨さん（左）



▲レースの模様を半田ゴテで切り取る様子に釘づけになるメンバーたち



▲無数の糸が美しい模様になっていく様子を写真や動画に収めていきます。

見学後はレースを重ね合わせてみたり、切り出して模様をつくってみたりと、自由に実験を進めます。まずは手を動かしかたちにしてみることで、頭のなかでは想像もしなかった気づきが生まれてきます。



STUDIO Cで考えようとしているテーマが「よさ」について。「よさ」といっても、その感じ方は一人ひとり異なります。今回のワークショップでは、それぞれが自分のお気に入りのプロダクトを持ち寄り、「どんなところによさを感じているのか」を共有しました。



▲膨大なレース生地の中から「いいな」と思った生地を2つずつセレクトし、各自がどんな基準で選んだのかも共有しました。

メンバーが何に良さを感じるのかを知ること、今後アイデアをかたちにしていくときのコミュニケーションにも大きく役立ちそうです。

次のワークショップまで「手を動かすこと」をベースに、各自がレースを用いた試作を行っていくSTUDIO C。頭で考え、手を動かし、それによって考えられる可能性を考察しながら、オンライン上でのコミュニケーションを進めていきます。

いよいよ動き出したXSTUDIO。物事を俯瞰して見たり、一部分にこだわって突き詰めたりと、ものすごい勢いでアップデートが進む各スタジオの様子に目が離せません。「XSTUDIO note 2018」では、3スタジオそれぞれのメンバーがワークショップの様子を更新！ こちらも定期的に更新していきますので、ぜひご覧ください。

text：石原藍 photo：片岡杏子

いいね！ 0

Related article 関連記事



PROJECT XSTUDIO

人の流れと営みを、地域に息づかせる力とは XSTUDIO福井プレゼンテーション・エキシビジョン ～後編～

NICCA イノベーションセンターで行われた「XSTUDIOプレゼンテーション／福井」。前編では、繊維をテーマにした各スタジオの発表の様

[MORE >](#)

CONTACT



PROJECT XSTUDIO

人の流れと営みを、地域に息づかせる力とは XSTUDIO福井プレゼンテーション・エキシビジョン

ン ～前編～

2019年2月9日、「XSTUDIOプレゼンテーション/福井」がNICCA イノ

[MORE >](#)



PROJECT XSTUDIO

非合理を選ぶ、合理性もある。地域をこえたプロジェクトから見えてきたこと ～XSTUDIO 東京プレゼンテーション/ラウンドトーク～

2019年1月27日（日）、東京ミッドタウン日比谷 BASEQで開催したXSTUDIO 東京プレゼンテーションは、メンバーや関係者を含めて

[MORE >](#)

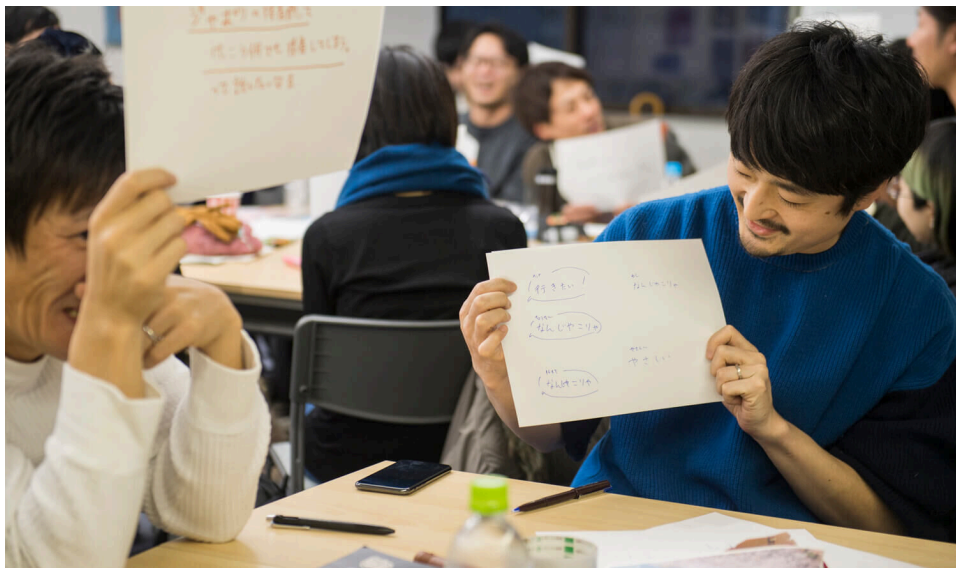


PROJECT XSTUDIO

速報！ XSTUDIO東京プレゼンテーション イベントレポート

2019年1月27日（日）、「東京ミッドタウン日比谷 BASEQ」にて
XSTUDIO 東京プレゼンテーションが開催されました。メンバーや関
係者の方々が集まり、XSTUDIOの活動について話し合いました。

[MORE >](#)



PROJECT XSTUDIO

発表会まであと少し！ それぞれが作りたい繊維 の未来とは？ ～最終ワークショップ～

2018年9月から始まったXSTUDIOも早いもので、12月の最終ワーク
ショップを迎えました。3つのスタジオは「繊維」というフィールド
で、それぞれまったく異なる方向を見…

[MORE >](#)



PROJECT XSTUDIO

あのプロジェクトは今……！？ 1期生・2期生が 歩み続ける道のりを紹介！ ～ XSCHOOL/XSTUDIOオープントーク～

XSTUDIO第2回ワークショップ1日目の夜には、XSCHOOL1期・2期の受講生、そしてXSTUDIOメンバーによるオープントークイベントが

[MORE >](#)



PROJECT XSTUDIO

東京1月27日（日）、福井2月9日（土）、プレゼンテーション・展示が開催決定！

福井の文化や風土を紐解き、社会の動きを洞察しながら、全国から集まる多分野のメンバーと地元企業が、新たな価値や事業の種となるプロジェクトをともにつくるXSTUDIO。福井…

[MORE >](#)

CONTACT



PROJECT XSTUDIO

リサーチと実験から見つけた繊維の新たな可能性
～第2・3回ワークショップ～

「繊維」をテーマに3つのスタジオが新たなプロジェクトを生み出す
XSTUDIO。第1回ワークショップでは、パートナー企業の事業内容や

[MORE >](#)



PROJECT XSTUDIO

繊維をテーマにともに考えるXSTUDIOがスタート！ ～第1回ワークショップ・前編～

福井を舞台に、新たなプロジェクトを生み出すXSTUDIOがついにはじまりました。昨年までのXSCHOOLは受講生が3人1組で進行しましたが、今年度はスタジオ形式で展開。…

[MORE >](#)

さらに読み込む

CONTACT



事業名 福井とつながる対流拡大事業 主宰 福井市
協力

国立大学法人 福井大学 産学官連携本部、公立大学法人 福井県立大学 地域連携本部、株式会社福井銀行、株式会社福井新聞社

運営 株式会社福井新聞社、株式会社デザインスタジオ・ピネン

© 2025 未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト